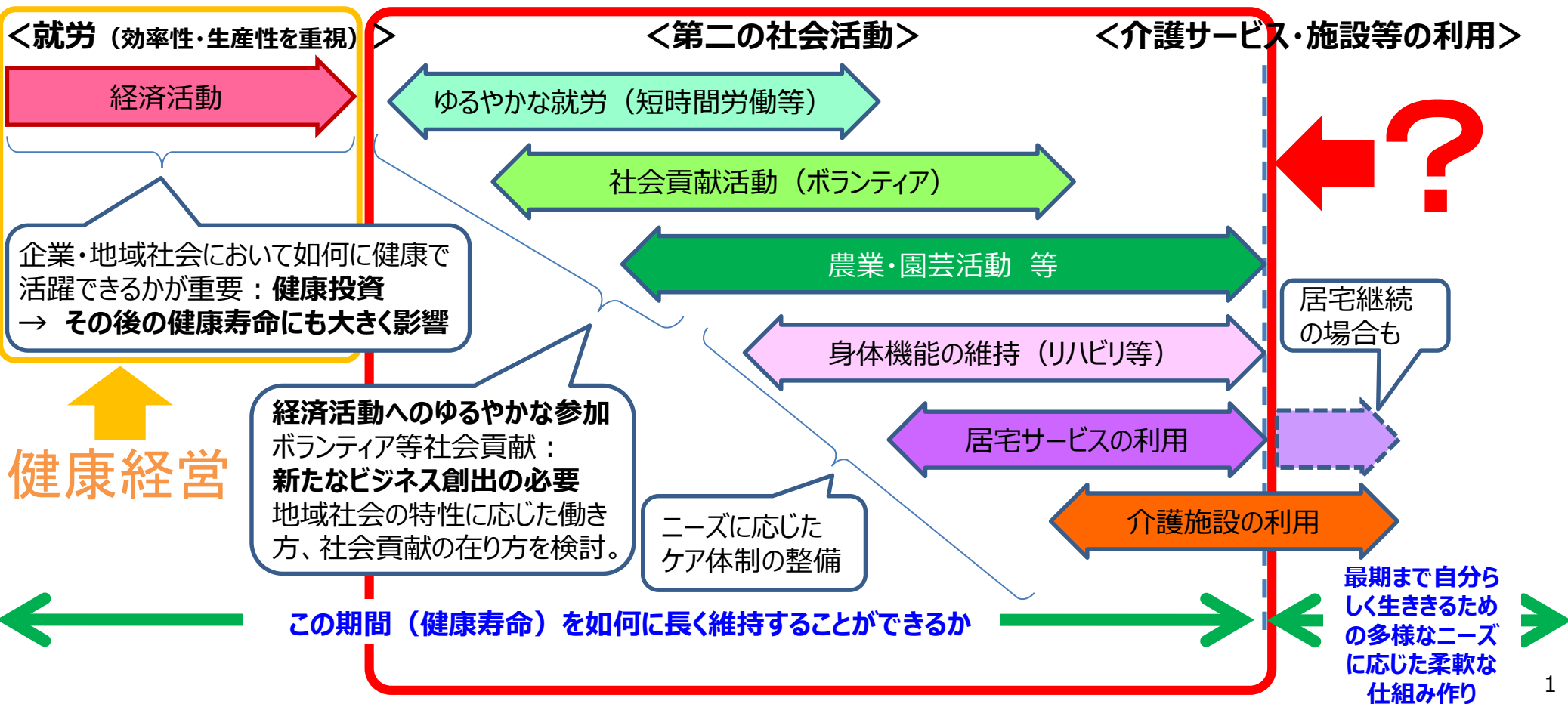


第19回健康投資WG 事務局説明資料 (健康投資WGの今後の議論について)

平成30年12月27日
経済産業省 商務・サービスグループ
ヘルスケア産業課

今後の健康投資WGにおける需要喚起の在り方について

- これまで、健康投資WGとしては、社会福祉関係者とは異なる観点で健康投資を活性化することを考え、主に職域を中心とし、健康経営を推進してきた。
- 他方、拡大する高齢者ニーズと社会課題を考えると、職域以外においても、個人の健康投資を促進するような方策を検討すべきではないか。
- 職域以外の健康投資・個人の健康投資の喚起に向けては、健康投資WGにおいて何を議論すべきか、ご示唆をいただきたい。



事例（イギリス：業種ごとガイドラインの策定）

- 「保険・金融業」、「小売業」など業種ごとの“認知症にやさしい”サービスのルール（ガイドライン）を策定・実施

英国のDementia Friendly Communityの取組の中で、選定されたガイドライン（一例）

- 認知症にやさしい金融憲章
- 認知症にやさしい小売りガイド
- 認知症にやさしい住宅憲章
- 認知症にやさしい航空輸送
- 認知症にやさしい美術館ガイド
- 認知症にやさしい競技場ガイド



認知症の人にやさしい金融サービス
(英国 金融憲章)